

謹告

不肖從來日本勸業證券月報社商號之下ニ有價證券買賣交換ヲ營ミ居リ候ニ創設日尙淺キニモ不拘營業益々進展ニ相向ヘ候モ是儘ニ諸彦之御芳志之賜ト感銘罷居候折柄過々本社一外務員ノ勸誘上之粗誤ヨリシテ今般責任上不肖昌弘其筋之御取調御受ケ候モ何ホ小生ニ於テハ拔レキ無之候ニ付茲ニ釋明致シ中候就テハ今後益々自重ノ上業務ニ從事仕ル可ク候間何卒信舊御引立ノ程奉懇願候也 敬具
大正十五年一月十四日

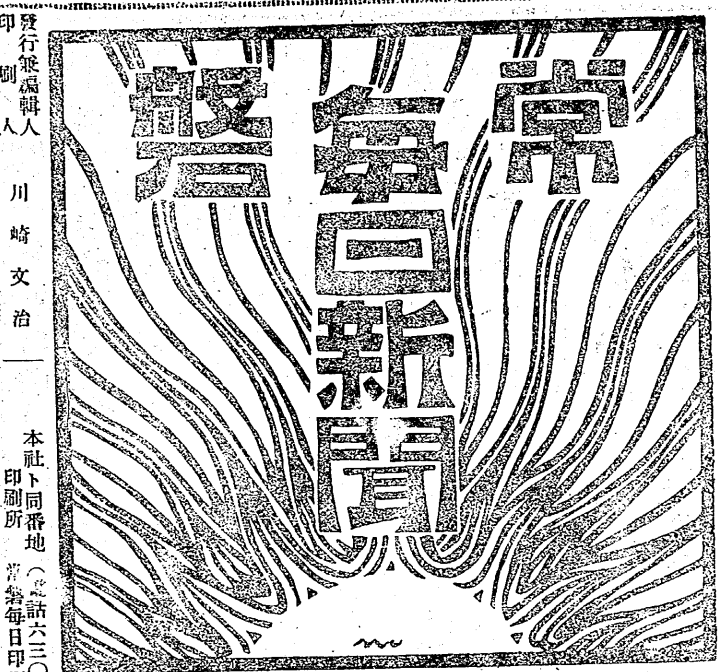
丸昌商店
吉田昌弘

速迅
車動自切貸
番七十四話電
部車動自澤芹
忠正澤芹主

平町南町

強勉

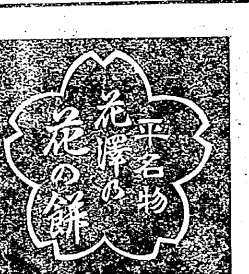
今冬最新流行
子帽・物洋
タシマヒ揃山澤ガノイ安
部品洋谷大
店計時谷大
番九十話電日丁三町平



刊夕日五廿月一

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 本社下同番地(電話六三〇番)
印刷所 電話六三〇番

今年の寒さは
百年來の寒さ
ますます寒く
なりなす
防寒具の御用意は?
オースター 六、八〇〇ヨリ
トロンビ 一、〇〇〇ヨリ
モチリ 五、〇〇〇ヨリ
なかや洋服店
平町(電話二〇三)



美味しい温かい
冬の、みもの
森永ミルクコ、ア六十罐入 六十錢
紛末即席コーヒ中 罐入 四十錢
大罐入 六十錢
ヤトモツマ
番四一二電

至急募集
見習子弟 十二歳より
給仕小女 十四歳より
十八歳まで

御定食
牛鳥なべ 味噌タレ有リ、
品一 金壹圓
品二 金壹圓五錢
品三 金貳圓
月丁一町平
番〇二六話電
ラヒターエフカ



第六期營業報告

資本金	五,八七,五二五	諸積立金	五,〇〇〇,〇〇〇
貸出金	三,三〇〇,〇〇〇	諸積立金	三,〇〇〇,〇〇〇
貸借対照表	五,〇〇〇,〇〇〇	諸積立金	三,〇〇〇,〇〇〇
預金	一,〇〇〇,〇〇〇	諸積立金	三,〇〇〇,〇〇〇
現金	一,〇〇〇,〇〇〇	諸積立金	三,〇〇〇,〇〇〇
負債	一,〇〇〇,〇〇〇	諸積立金	三,〇〇〇,〇〇〇

後期繰越金 四、五五、七〇〇
大正十五年一月
株式会社磐城銀行
専務取締役 白井一
同 取締役 白井博之
同 取締役 安島重三郎
同 取締役 山崎久太郎
同 取締役 高岡唯一郎
同 取締役 小野晋平
同 取締役 草野順平
同 取締役 草野順平
同 取締役 草野順平
同 取締役 草野順平
同 取締役 草野順平

常發每日新聞
店員會議を開け
伊藤重治郎
(五)
皆のあたまで案を改良し、
推敲し、作成するのである
から決して天下り案では無
い。乃至又誰某の案でも無
い。坊主が憎いたため装束ま
で憎まれる懼れが無い。僕
等が考へた案である。言
ひ出したからには之を成功
させないで男が立たない。
だから皆が心底から力を入
れて成功する様に。そ
こが會議の一番有力なる點
である。一つこんな例があ
る、デーゾイドアドラー
父子商會といへば、大きな
洋服製造社であるが。其
販賣員會議の席上議案とし
て注文服處分の件といふの
があつた。所謂既製品の賣
行は夥しいが別に個人々々
の寸法を取って仕立てる注文
服もなかく多い。處がさ
ういふ注文服が出来上つた
曉で客が引取らないのがあ
る、是はレディメイドと違
つて夫れ、特別の寸法に
出来て居るのだから突き返
されるも社社でも非常に迷
惑する。何とこの是は此注
文を取った販賣員が處分す
る責任はあるまいか、とい
ふのが議題の趣旨で従つて
是は、其價の半額を販賣員
の責任とする事として、ど
うであらうといふ、提案で
あつた。スルト一人の販賣
員が「全部を其販賣員の負
擔とすべし」と叫んだ一
も二も無く大勢が之に賛成
し、採決の結果是に決定し
再來之が實行せらる、様に
なつた。ツマリ會議の勢で
販賣員は自分等の態々不利
な様に修正し夫れも天下り
で無く、自分等の發案とし
て之を甘受し實行してゐる
のである。萬一之が天下り
案であらうものなら反對黨
々として一騒動起るべきも
のだ

人氣映畫に對する 本社主催の大懸賞

有聲座のライオンマン中に
現れる假面の人が問題

去る一月八日より帝キネ直營活動常設有聲座に於て多
大の好評を博せる連續大活劇『ライオンマン』は今回
内部を改裝して新裝を凝らせる同常設館に數日來三篇
及び四篇が上映されて居るが畫面の中に奇々怪々たる
一個の假面の人が現れて種々多様な活躍を試みる
此突如として現れた假面の人は

果して何人か？ 悪人か？ 且つ善人か？

此解答を募つて當選者百名に夫々賞品を
贈呈す、解答規定は左記の通り

(締切)二月十一日(宛名)平町長橋町三五常磐毎日新
聞社懸賞係(用紙)葉書(賞品)三重桐箆筒、鏡台、時
計其他ユニバーサル及び有聲座寄贈品正解者多
數の際是有聲座公開の席に於て抽籤を行へ入選者百
人を決す但し選外と雖も洩れなくプロマイドを進呈

常磐地方の炭炭量

▽……全國で第三位

其大半は磐城炭礦から

石炭鑛業聯合會最近の發表
にかゝる昨大正十四年中の
全國石炭炭送出高は合計二千
五百七十五萬七千七百三噸
で前年に比し百二萬一千六
百六十六噸即ち四分の増加
を示し尙本年度送出
豫想高に 比すれば
六十三萬四千三百八噸の減
少である之を地方別數量に
見るに常磐地方の送出は二
百四十八萬五千七百九十八
噸で筑豊地方と北海道とに
つぎ全國の第三位に在りそ
の送出量は全体の

約一割に 當つてゐ
る而してその大半が磐城炭
礦株式會社の送出にかゝる
と勿論で合併後に於ける舊
茨城炭礦分を除き尙同年中
の炭炭高が百萬五千六百十
三噸と云ふ多量に達して居
つたその内容に至つては自
用の燃料或は前年來乃至現
在の

貯炭關係 等で遽に
その正確を期し得ぬにせよ
前記の數字と大差なき送出
高に達してゐるであらうと

農會の仕事は 形式的に傾く

郡廢後には改善
石城郡農會ではこの程の總
會で郡廢後の郡農會存廢に
關する意見も相當にあつた
が大勢は郡廢後における農
村の指導機關として統一し
た農會が切實に必要なもの
とし存置する事となつたが
水野

郡長の 意見をた
く「郡廢後の農會の必要
な事はも論で來年度に特
に力を入れてやつて見たい
事業中主なるものは先づ第
一に郡下町村かて名實共に
備はつた農會を選びこれを

模範農會たらしむべく
指導す」と共に農
會を通じて農村の現状を徹
底的に調査發表して一般農
家の活參考たらしめたい方
針である從來に於ける農會
の仕事はあまり形式的に傾
き農村の實情や經營方面に
關する調査の研究が欠けて
居たやうに思はれるので
來年度 新規事業
としてこの方面に活動して
見たいと思ふ

在平茨城人が
内閣を組織
首相に白井判事

小田炭礦が 出水で休山

労働者不安

石城郡好間村小田炭礦では
去月末日より坑内に出水甚
だしく全員を擧げて晝夜の
別なくこれが排水作業に従
事し極力復舊策につとめて

四倉拂下の張本が 脅迫と横領で告發

漁夫騷擾を種に

寄附金の一部を山分け

先般四倉海岸拂下げ問題に
連座し平刑務所に收監され
た門馬公平氏は出監後同問
題の解決促進に關しては同
町の利害休戚を顧みず忍か
に海岸地の拂下げを爲し

巨利を むさぼらん

とした町會議員吉田壽三郎
氏を鎗玉にあげねばならぬ
と決意し去る廿一日四倉分
署に同人及び同町下駄商緒
形己之を脅迫横領の罪を以
つて告發を爲したが同告發
の内容は兩名が昨年三月漁
夫騷擾の際是れを種となし
鎮壓すべしとの口實の下に
各方面より多額の



家庭欄

妙薬川せみ

川せみと云ふ美しい小鳥が
あります、よく小川のあた
りにすんで、小魚や、虫等
をとつて食べてゐます、そ

ゐたが出水甚だしく遂に二
十一日來より休山のやむな
きに至り同礦坑夫は何れも
不穩の氣に充たされてゐる
が二十三日同坑では三百餘
名の坑夫を一先づ同礦第二
坑に收容して万全の策を講
じてゐる

平驛擴張工 事 今月中に完成

平驛貨物積おろし場は狭小
を極むるので今回擴張する
事となり平町請負業江口忠
一氏が工費一萬五千圓で請
負ひ目下工事中で今月に完
成の豫定であるがこの工事
により約六百坪を擴張され
ると

組合へ獎勵金 石城 郡四倉濱漁業組合では水産

れをとつて密閉した器に入
れ、黒燒きにして、それを
粉末にしたものを、五日な
いし一週間に分服いたしま
すと、恐ろしい病に大
そうなきゝめがあります。
▲リウマチには、お寒く
なりますとリウマチはおこ
りやすうございます。これ
にはサイカチ(なた豆のや

推獎に値する 澤渡村の活動

石城郡澤渡村は村役場その
他各團體一致自治の發展
向上に努めたところから最
近その成績見るべきものあ
り小學兒童の父兄等は競つ
て金品の寄附をなし兒童教
養の指針善導の一助とし農
業補習學校においては舊臘
より藁細工デーを開始毎週
三回製品を販賣基本財産の
貯藏をなし消防組は小學校
敷地整理並びに寺院の修復
等に勤め専ら會社奉仕的の

募集

文藝其他投稿
を募集します
質として貰はぬ先から當て
込みに景氣を付ける者もあ
り飲食店等は仲々の繁昌だ
といふ

貰はぬ先に 當て込みで 飲んだり食たり

一昨今の漁濱
石城郡の各漁濱では舊年末
に船主から漁夫等に對しボ
ーナスにも比しき年手當を
支給するので一種の漁夫氣
活動をなしつつあり稀に見
る自治の村として推賞に値
するだらう

好間農總代會 石城 郡好間村農會にては廿日午

前九時から村役場に於て總
代會を開き大正十五年度の
事業方法を協議したと

うなものです)の實を黒燒
きにしそれを粉にして酢と
御飯つぶでねつて痛むとこ
ろへはります。またごくひ
ごいのになりますと、それ
で湯をたてゝ入へります。
大てい一週間ぐらゐでさ
ます。リウマチには冷える
のとしげき物は一番禁物で
あります。

川前殖林調査 本縣
農林技手平田稻男氏は殖林
補助申請地實地検査として
去る廿一日同地に出張検査
を遂げた

四倉武道初め 石城
郡四倉警察分署にては本日
午前十時から水谷分署長の
就任披露を兼ね武道初めを
舉げた

菊多校分離 石城
郡植田尋常高等小學校は從
來植田町、錦村、山田村一
町二ヶ村の學校組合で經營
してゐたが解散の機運に遭
遇したので愈々解散するこ
とになり植田町では同町の
高等科生徒を別に收容せね
ばならなくなり字八郷に位
置變更をなし高等科を併置
することになつた